

## 蘇南高校 卒業式 あいさつ (要旨)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様の健やかな成長、晴れの門出心よりお喜びとお祝いを申し上げます。先生方には、このコロナ禍の中でも卒業にお導き頂いた事に敬意と感謝を申し上げます。

さて卒業生の皆さん、3年間通った蘇南坂とも今日でお別れですがお気持ちは如何でしょうか。皆さんの胸の中にはあの急な坂道を歩きながら見た景色と共に、高校生活での様々な思い出が走馬灯のように流れているのではないのでしょうか。今、その思い出を胸に社会に向かって飛び立つ時を迎えました。社会に出れば、いや人生を生きていく上では多少の困難や苦労は付きものです。その困難や苦労を乗り越えるための術や力を、蘇南高校の3年間で身に付けたはずです。特にコロナ禍の中でも学び続けたという自信と誇りを持って、力強く羽ばたいて行ってくれることを期待しています。

今、国の内外には活躍する多くの日本の若者がいます。野球の大谷選手、ゴルフの松山選手、将棋の藤井聡太5冠、そして我ら郷土の星大相撲の御嶽海関は優勝して大関の座を勝ち取りました。彼らのように夢や希望を叶えるために敢えて困難や苦労に挑戦することもあります。普段の私達の生活の中でも特に長い人生においては困難や壁があるのは当然のことです。その困難を乗り越えていく鍵は、実は自分の中にあるということをお忘れではありません。大谷選手はこう言っています、「やれるかやれないかではなく、自分次第だ」と。ともすれば自分の中で諦めてしまったり限界を決めてしまいがちですが、皆さんには多少の困難や壁を乗り越えて行くだけの力とエネルギーがあります。何よりも若さと可能性を持っています。皆さんにも夢や希望はあるかと思いますが、まずは自分を信じて目指す所へ羽ばたき、羽ばたきを重ねて目指す所或いは納得できる所へ降り立って下さい。そしてみんなが力をあわせて、明るい日本の未来を築き上げてくれると期待をしています。

地元市町村長の代表としてひとつだけお願いをしておきます。それは、皆さんの若い力を故郷(ふるさと)のために貸して欲しいということです。今皆さんの故郷は、どの市どの町どの村も若い人の力を必要としています。方法はそれぞれで構いません。故郷に住むこと、故郷で働くこと、故郷に帰って来ること、或いは故郷に関わること、故郷を思うことでも構いません。これからも故郷に繋がっていて下さい。繋がっている限り故郷は皆さんをいつでも応援していきますので、その故郷に皆さんも何かしらの方法で力を寄せて頂けたらとお願いをするものです。

そんなことを胸に刻みながら、そして母校や先生方、お父さんお母さんのことも胸に焼き付けて、人生の中で最も光り輝く青春時代を突き進んで行って欲しいと思います。

本日卒業される全ての皆さんが大いに輝き活躍し、それぞれの人生が花開いて実り多きものとならんことをお祈りしながらハナムケの言葉と致します。

本日は誠におめでとうございます。

(R4.3.5 蘇南高校体育館)